

行政事業レビューシート サブシート

事業番号 補正 8 - 1

予算事業名	警備装備品の整備	事業開始年度	-			作成責任者	
担当部局庁	警察庁	担当課室	会計課装備室		装備室長 岡野良則		
会計区分	一般会計	上位事業	警察装備				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	警察法第37条第1項第6号 警察法施行令第2条第6号	関係する計 画、通知等					
事業概要 (5行程度以内)	大規模災害発生時に都道府県警察の枠を超えて被災者の救出・救助に当たる広域緊急援助隊による警備活動に必要な警備装備品の整備を図るものである。						
実施状況	大規模災害対策用資機材等の警備装備品を整備した。						
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求	
	予算額(補正後)			2,920			
	執行額			2,920	/	/	
	執行率			100% ()	/	/	
	総事業費(執行ベース)			2,920	/	/	
自己点検 (使途の把握水準 や見直しの余地 等)	<p>警備装備品は、テロや大規模災害等が発生した際の警備活動を行う上で必要不可欠なものであることから、引き続き老朽化した警備装備品の更新や、治安情勢に応じた充実を図る必要がある。</p> <p>警備装備品は警察庁において一括購入しているため、支出先については把握している。</p> <p>また、調達する際には、契約案件の都度、仕様の見直し・点検を行うとともに、過去の調達実績や市場の状況等を予定価格に反映させているところである。さらに競争性、経済性を高めるため、警察庁において一括調達するといった取組みを行っており、今後も効率的な予算執行に努める。</p>						
資金の流れ / 費目・使途	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">警察庁 2,920百万円</div> <div style="margin: 5px 0;">〔 警備装備品の購入 〕</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="margin: 5px 0;">〔 一般競争入札・ 随意契約(少額) 〕</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">A. 民間会社(50者) 2,920百万円</div> <div style="margin: 5px 0;">〔 警備装備品の納入 〕</div>			A. 櫻護謨株式会社			
		費目	使 途	金 額 (百万円)			
	物品購入費	汚染水域潜水用具等の購入	922				
	計		922				

() 平成21年度補正予算(第1号)執行の見直しにより、執行残を返納したため、執行率が100%となっている。

Aブロック以外の
支出先等
(1枚目に収ま
らない場合)

【A. 上位10者の支出先】					
支出先	内 容	金 額 (百万円)	支出先	内 容	金 額 (百万円)
櫻護謨株式会社	汚染水域潜水用具等の購入	922	双信商事株式会社	救命ボートの購入	38
新成物産株式会社	新型インフルエンザ用感染防護資機材の購入	392	帝国繊維株式会社	地震警報機の購入	38
船山株式会社	空気ポンベの購入	160	スエナガ機興株式会社	発動発電機等の購入	36
廣瀬商会株式会社	エアーツール等の購入	136	株式会社池田理化	胴付きゴム長靴の購入	31
応用地質株式会社	エアージャッキの購入	64	海洋電子工業株式会社	熱探知装置の購入	27
B.			【B. 上位10者の支出先】		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	支出先	内 容	金 額 (百万円)
計		0			
C. 株式会社			【C. 上位10者の支出先】		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	支出先	内 容	金 額 (百万円)
計		0			

大規模災害対策用装備品等の整備

自然災害・事故災害の発生



地震



ゲリラ豪雨



大規模事故

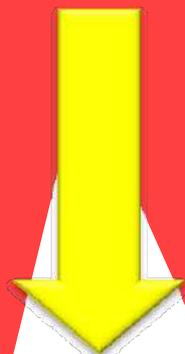
国民の生命・身体への脅威



倒壊家屋による生き埋め、冠水による孤立等の災害現場において、被災者の捜索活動、救出・救助活動等を的確に実施するための装備資機材の整備が必要



広域緊急援助隊



水難救助部隊

大規模災害等緊急事態の発生時における対処態勢を確立し、国民の安全・安心を確保